



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深め、北方領土の早期返還を実現させましょう！

### 令和7年度北方領土問題対策協会表彰【令和7年4月18日】



表彰式の様子

TKP市ヶ谷カンファレンスセンターで開催された北方領土対策協会表彰式において、北方領土返還要求運動の推進に顕著な功績があったとして、増子恵二理事・事務局長が表彰されました。増子恵二理事・事務局長は、長年県民会議役員として、また、令和元年からは、独立行政法人北方領土対策協会福島県推進委員として、返還運動啓発活動の実施や県民会議の返還運動方針の策定、事業の参加等、長年にわたり精力的に活動を行い、北方領土返還要求運動にご尽力いただきました。本県関係者の受賞は7人目となります。

### 令和7年度総会の開催【令和7年6月27日】

県庁西庁舎講堂で総会が開催され、令和6年度の事業報告及び収支決算、令和7年度の事業計画及び収支予算について承認されました。

なお、総会では、北方領土の早期返還の実現に向けて、県社会福祉協議会高野副会長が決議文を読み上げ、政府に対し、平和条約の早期締結に向けて更なる外交努力を尽くすよう求めると共に、県民会議として、引き続き粘り強く北方領土返還要求運動を展開していくことを満場一致で採択しました。



決議文読み上げ

## 令和7年度北方領土青少年交流のつどい【令和7年7月23日～24日】

本事業は、北海道・東北の各道県の中学生在が集まり、北方領土問題の早期解決に向けて、次代を担う青少年が理解と関心を深めることを目的とするもので、毎年持ち回りで開催しています。今年度は秋田市を会場として、北方領土返還要求秋田県民会議が中心となり開催されました。本県からは、いわき市立田人中学校の生徒2名及び教員1名が参加し、「北方領土に関する学習会」「元島民の方の体験談（択捉島出身伊藤光作氏）」を通じて、北方領土問題に関する知識を深めました。

## 令和7年度北方領土青少年等現地視察事業

【令和7年7月29日～8月1日】

福島県民会議の主催により、25名（中学生15名、高校生3名、引率者3名、福島民友新聞社記者1名、事務局3名）の視察団を組織して、3泊4日で2年ぶりに実施しました。

本事業は、主に青少年等を構成員とした青少年等現地視察団を北方領土隣接地域に派遣し、青少年に北方領土を視察してもらうとともに、元島民の体験談を聞くなどの機会を提供することにより、北方領土問題を身近に捉えてもらい、本問題の一層の理解と関心を高めってもらうことを目的として実施しました。

7月30日にカムチャツカ半島沖で発生した地震に伴い、津波注意報・警報が発令された影響により、行程の一部を変更して視察事業を継続しました。

参加した生徒からは、「予定外の学びができたこともまた貴重な経験となりました。」「四日間で学んだことを、まずは家族や学校の人に伝えるなど、自分にできることから始めたいです。」等の感想が寄せられました。今後の日本を担う若い世代が、返還要求運動を継承していくことが期待されます。

### 視察の概要



#### 視察1日目 7月29日(火)

初日は、仙台空港から新千歳空港を経て、根室中標津空港に到着しました。貸切バスで根室港へ行き、えとぴりか号を見学しました。えとぴりか号は北方領土問題解決に向けた、四島交流事業で使用されていた船舶です（現在、四島交流事業はロシアによるウクライナ侵攻の影響で中断されています。）。船内では実際に使われている操舵室や客室を見学しました。



えとぴりか号



西浜墓地（元会津藩家老梶原平馬の墓）

えとぴりか号見学後は、根室市内にある西浜墓地（元会津藩家老梶原平馬の墓）を参拝しました。参拝の際に北方四島交流センター（二・ホ・ロ）の職員である福田光夫さんに解説をしていただきました。元会津藩家老梶原平馬の墓がなぜ根室にあるのか、その歴史を福田さんの推測も交えながら熱心に解説いただきました。



## 視察2日目 7月30日(水)

北方館、北方四島交流センター（二・ホ・ロ）見学のため、納沙布岬に向かいました。しかし、見学中に津波警報が発令された影響により、現場を離れ、内陸部へ一時的に避難しました。その後、一行は4日目に見学予定だった開陽台を訪れました。

開陽台の見学後、北海道の雄大な自然に触れていただくため、移動途中で斜里町にあるオシンコシンの滝を訪問しました。



オシンコシンの滝



網走監獄



## 視察3日目 7月31日(木)

沿岸部に隣接する北方領土啓発施設見学を取りやめ、当初予定していた行程を変更して、網走方面の内陸部を視察しました。

まず、一行は知床五湖を散策しました。知床世界自然遺産の大自然を間近で見ることができました。その後、網走市の流水館を見学しました。流水館では、冬の北海道マイナス15度の世界を体験しました。流水館見学後は網走監獄を見学しました。明治時代に建てられた歴史的な建造物群を見学することができました。



## 視察4日目 8月1日(金)

視察最終日は、再度、中標津町の開陽台展望台を訪れました。その後、中標津町内の商業施設東武サウスヒルズへ行き、お土産を購入しました。最後に、根室中標津空港から新千歳空港を經由して福島空港へ向かい、たくさんの経験と思い出を抱えながら帰路につきました。



根室中標津空港

## 北方領土問題教育指導者現地研修会 【令和7年8月4日～6日】

この事業は、社会科担当教諭を北海道根室市に招聘し、北方領土の視察や北方領土問題を取り扱う授業に関するワークショップなどの研修を通じて本問題の理解と関心を深めていただき、学校教育現場における北方領土教育の一層の充実を図ることを目的として実施されました。本県からは、社会科担当教諭1名が参加しました。

## 北方領土返還要求北海道・東北国民大会 【令和7年8月29日】



鈴木副知事あいさつ

本大会は、北方領土問題の解決にかける国民の総意を明確に示し続けるため、北海道・東北六県が一体となり、確固とした意思のもとに粘り強く返還要求運動を推進し、政府の外交交渉を強力に支援していく決意を新たにすることで、本県からは4名（鈴木正晃副知事、阿部君江会長、増子恵二理事・事務局長、渡邊直樹県民広聴室長）が出席しました。大会では、東北六県知事を代表して鈴木正晃副知事からご挨拶をいただきました。

## 北方領土青少年等現地視察事業参加生徒による報告会の開催 【令和7年10月4日】



各中学校からの報告



各中学校からの報告

郡山市労働福祉会館大ホールで、令和7年度現地視察事業に参加した生徒による報告会を開催しました。報告会では、生徒が現地で見えて聞いて体験して、感じたことや考えたこと、現地視察事業を通じて学んだことなどを発表してくれました。また、スマートフォンを使ったクイズやAIを活用した発表など、視察の報告とはまた別に、出席者の興味を引く工夫も凝らされており、生徒からは、「他校の発表を聞いて、自分たちで調べたこと以外にも北方領土に関する知識を学ぶことができた。また、意見交換会をしたことにより、さらに北方領土について関心を持てた。」といった感想がありました。また、参加した県民会議会員からは、「素晴らしい意見が聞けて、大変勉強になりました。北方領土に対する考えが変わりました。」等、生徒と会員との交流を通じてより北方領土に対しての知識・理解を深めることができました。



各中学校からの報告



高校生からの感想発表



意見交換会



会員からの感想発表

## 北方領土返還要求中央アピール行動 【令和7年12月1日】

北方領土問題に対する国民世論の喚起高揚を図ることを目的に、都内でアピール行進が実施されました。全国各地から約100団体、総勢約500名の参加があり、銀座ブロッサム中央会館を出発し、国民の総意の証である全国47都道府県旗を掲げながら行進しました。本県民会議からは6名が参加しました。



出発式



中央アピール行動



## 令和8年北方領土返還要求全国大会 【令和8年2月7日】

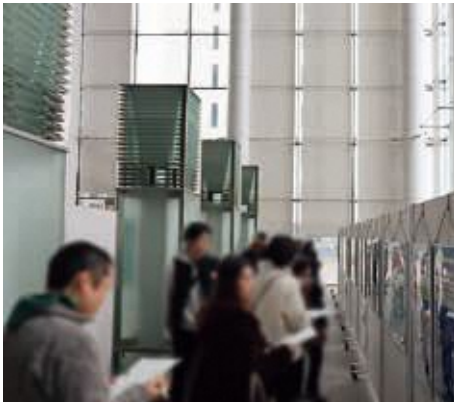
本大会は、官民の関係者が一堂に会し、北方領土返還要求運動が一層幅広く発展することを願うとともに、北方領土の早期返還を求める固い決意を内外に表明するものとして、昭和56年以来、毎年2月7日の「北方領土の日」に東京都で開催されています。国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された本大会には、本県から7名が参加しました。



高市内閣総理大臣あいさつ

## 北方領土パネル展 【令和8年2月8日～17日】

2月の「北方領土返還運動全国強調月間」に合わせて、コラッセふくしま（2月8日～9日）、福島県庁（2月10日～17日）において「北方領土パネル展」を開催しました。コラッセふくしまではクイズラリーを実施し、多くの来場者にご参加いただきました。また、今年度からパネル展会場に署名簿を設置し、来場された多くの方々から署名をいただきました。参加された方からは、「普段気にしたことがなかった北方領土のことが知れてよかった。」、「楽しく北方領土について学ぶことができた。」、「北方領土について改めて考えるよいきっかけになると思います。」等、多くの方に北方領土について知っていただく機会となりました。



パネル展の様子



北方領土エリカちゃん

【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町 2-16（福島県総務部県民広聴室内）

TEL：024-521-7013

FAX：024-521-7934

Mail：koucho@pref.fukushima.lg.jp



北方領土イメージキャラクター  
「エリカちゃん」、「エリオくん」